

# 令和2年度 社会福祉法人淳邦会 事業計画

特別養護老人ホーム のぞみ荘

地域密着型特別養護老人ホーム のぞみ荘

ケアハウス オパール

デイサービスセンター オパール

オパール居宅介護支援事業所

福田高齢者支援サブセンター

グループホーム ひなぎく

育成推進室

## 令和2年度 事業計画

特別養護老人ホーム のぞみ荘

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する  
心身ともに安定した生活を送っていただくために、入所者一人ひとりのニーズや課題を明確化し、チームで対応を検討し最適なサービス提供に努める。  
看取り介護についての理解を深め、「のぞみ荘で最期を迎えたい」という入所者や家族の意向に沿って、その人らしく人生の最後が迎えられるよう支援する。
- ・地域福祉の拠点となる活動を実施する  
積極的なボランティアの受け入れや地域行事への参加で、住民と交流し開かれた施設を目指す。  
また、地域における緊急措置の必要な事例に対し関係機関と連携しながらセーフティネットの役割を果たす。
- ・優秀な福祉人材を育成する  
研修会の開催や参加、委員会の実施等で職員の資質向上と職業倫理の徹底を図る。  
人事交流を行い、ケアの質や職務能力の向上を図る。
- ・人が活きる職場環境を整備する  
電動ベッド・介護補助具の購入や電子記録などのIT機器の導入により、生活環境整備及び職場環境改善を実施する。  
安定したサービスが提供できるよう募集活動の枠を広げて人材確保に努める。効率的で偏りのない職員配置の工夫と育成を行なうことで、職員の定着をめざす。  
それぞれの想いを共有できる体制を構築する。
- ・安定した経営を継続する  
入所者の心身の状況を多角的に把握し、疾病の変化に早期対応することで入院日数の削減を図る。また、入所や退院のスムーズな受入れにより平均稼働率96%を目指す。  
ショートステイは平均稼働率を50%に設定する。利用者確保のための情報提供や緊急事例への柔軟な対応で目標達成を目指す。  
実態に合ったコスト管理を行い、経費削減のため業務内容の効率化に努める。
- ・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する  
尊厳の視点に立って、虐待防止・身体拘束ゼロ・不適切ケアの防止などの権利擁護の取組を継続する。  
防災設備の点検や訓練を実施し安全対策及び福祉避難所としての準備に努める。

## 令和2年度 事業計画

### 地域密着型特別養護老人ホーム のぞみ荘

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する  
季節を感じる穏やかな生活を継続するため、行事や日々の過ごし方を常に見直す。  
地域や家族との結びつきを強くするため食事会の開催など新たな取組を開始する。  
看取り介護についての理解を深め、「のぞみ荘で最期を迎えたい」という入居者や家族の意向に沿って、環境整備等も含めた対応を継続して協議し、その人らしく人生の最後が迎えられるよう支援する。
- ・地域福祉の拠点となる活動を実施する  
地域住民や入居者家族、地域福祉関係者等からなる運営推進会議を開催し、取り組みを報告・共有することで課題を発見し、交流活動の創設など新たな活動へつなげる。
- ・優秀な福祉人材を育成する  
研修会の開催や参加、委員会等の実施、業務改善により職員の資質向上と職業倫理の徹底を図る。  
人事交流を行い、ケアの質や職務能力の向上を図る。
- ・人が活きる職場環境を整備する  
電動ベッド・介護補助具の購入や電子記録などのIT機器の導入により、生活環境整備及び職場環境改善を実施する。  
安定したサービスが提供できるよう募集活動の枠を広げて人材確保に努める。育成の支援を行なうことで職員の定着を目指す。  
それぞれの想いを共有できる体制を構築する。
- ・安定した経営を継続する  
待機登録者確保の為、対象地域の範囲を広げ医療機関や他施設に情報提供を行う。  
入居者の心身の状況を多角的に把握し、疾病の変化への早期対応することで入院日数の削減を図る。また、入居や退院のスムーズな受け入れにより平均稼働率 95.5%を目指す。  
実態に合ったコスト管理を行い、経費削減のため業務内容の効率化に努める。
- ・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する  
尊厳の視点に立って、虐待防止・身体拘束ゼロ・不適切ケアの防止などの権利擁護のための取組を継続する。  
防災設備の点検や訓練を実施し安全対策及び福祉避難所としての準備に努める。

## 令和2年度 事業計画

在宅支援部  
ケアハウス オパール

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

季節の行事や外出支援を活用し、利用者同士や職員との交流を図ることで相互理解を深め、相談しやすい環境づくりを行う。

全利用者が参加できるように行事の開催方法を工夫し閉じこもり防止に努める。

身体機能維持や認知症進行防止のために利用者個々に応じた支援・提案を行う。生活を活性化することで生きがいを感じ、楽しく日々を送れるよう支援する。

- ・安定した経営を継続する

こまめな声掛けや訪室で利用者の状況や状態を把握し、関係機関や家族と情報を共有することで入院日数の削減に努める。また、感染症予防など定期的に勉強会やお知らせをすることで体調管理・生活の維持向上に努める。

稼働率95%以上を目指し、入退去を円滑に進めることで空室期間の短縮に努める。

## 令和2年度 事業計画

在宅支援部  
デイサービスセンター オパール

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

「その方が在宅生活を継続する為に、自分たちが何をすべきか」という視点で常にアセスメントを行うことや、潜在的なニーズも的確に捉えることにより、日常を通じて喜びを感じていただけるサービスを提供する。

また、個別機能訓練を行うことで、利用者の身体機能の維持・向上へつなげる。

対象者に合わせた統一したケアの提供とご家族様との情報共有・連携により認知症利用者が安心して元気に過ごせる環境作りを行う。

- ・地域福祉の拠点となる活動を実施する

法人が目指す地域における公益的な取り組みを理解し、積極的に参画する。

- ・優秀な福祉人材を育成する

在宅におけるデイサービスセンターの役割を明確にし、個別ケアの実践がしっかりと行える専門職を日々の業務や研修参加により育成する。

- ・安定した経営を継続する

個別機能訓練の実施や認知症高齢者の対応の強化を引き続き行い、稼働率60%を目指す。また、地域のケアマネジャー等に効果的な情報提供を行い、関係を強化する。

- ・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

ひやりはっと等を活用し、事故の減少対策を継続するとともに、不適切ケアをなくす取り組み、適切な記録を行うなど法令遵守の徹底を図る。

## 令和2年度 事業計画

在宅支援部  
オパール居宅介護支援事業所

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

入院時の情報提供(医療・介護連携シート)では、在宅復帰の目標を設定し、多職種で共有する。介護力、環境を確認しながら本人の能力や強みを引出し、在宅で長く生活できるように支援をする。

- ・地域福祉の拠点となる活動を実施する

介護保険制度、健康体操、脳トレなど居宅で出来ることを地域に向けて発信し、出前・出張講座を年2回行う。

- ・人が生きる職場環境を整備する

医療・福祉職との関係作り、事業所の資質向上のため、研修・勉強会の参加を年10回以上行い、事業所内でも情報交換を行う。

- ・安定した経営を継続する

新規利用者の受け入れについては、包括支援センター、医療機関(退院支援、介護保険の申請)、老人施設(退所後の在宅支援)からの紹介や相談に柔軟に対応し、稼働率76%(前年比+3%増)を目標とする。

## 令和2年度 事業計画

在宅支援部  
福田高齢者支援サブセンター

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

在宅で生活している方の相談を受ける時に今後は介護保険制度だけでなく、その他の制度や地域の社会資源など様々な情報が必要となる。自分自身が制度などの知識を深めると同時に必要な情報のある所につなぐことができる手段を持つことも重要となってくると思われる。パンフレットや情報を整理することで相手に分かりやすく伝え、選択していただけるように努める。

- ・地域福祉の拠点となる活動を実施する

高齢者生活を考えるうえで「地域づくり」が重要視されており、通いの場やサロンなどを立ち上げる所も増えている。水島地区の高齢者支援センターでは百歳体操の支援を行うことで地域の活動をしている方との顔の見える関係を作るとともに、オレンジカフェや移動相談会を継続して開催している。

サブセンターとして他の支援センターとも協力しながら地域の活動にも参加・協力できるように努める。

## 令和2年度 事業計画

在宅支援部  
グループホーム ひなぎく

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

季節感や楽しみを大切にした行事や食事の取り組みを計画し、利用者がそれぞれに合ったお手伝い出来るよう援助していく。また、担当者が作成する毎月の家族へのお便りをきっかけに、日々の報告やニーズ把握などの情報交換を行い、より良いサービスの提供を目指す。

- ・地域福祉の拠点となる活動を実施する

運営推進会議を計画的に実施し、職員も積極的に参加し、内容の充実に努める。施設外の交流を継続し、認知症マイスター、ボランティア、実習生を受け入れる機会等を通じて地域に貢献する。

- ・優秀な福祉人材を育成する

施設内外の研修に積極的に参加し、援助方法、業務の検討を行う。事例研究発表の機会を設け、ケアの向上を目指す。

- ・安定した経営を継続する

関係機関との連携を密にし、事前の準備を行うことで円滑な入所を支援し、稼働率93%を目指す。

- ・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

ひやりはっと等を活用し、事故減少に取り組む。また、マニュアルの徹底を行うことで統一化されたケアを提供する。防災関係設備等の把握に努め、定期的に訓練を実施することで災害時でも落ち着いて対応できるように備える。

## 令和2年度 事業計画

事務局  
育成推進室

### ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

常に利用者の視点から高齢者福祉施設職員として求められる「やり方」と「あり方」を念頭に置いたサービスを提供できるよう働きかけを行う。現状を把握し、課題解決、質の向上につながる取り組みを行う。

### ・地域福祉の拠点となる活動を実施する

社会福祉法人の責務として位置付けられた「地域における公益的な取組」を地域活動委員会と共に実施する。各種機関・団体と連携して地域のニーズを把握し、貢献することでより地域に求められる法人、地域共生社会の実現を目指す。ふくふく堂の開催等を通じて、地域の皆様と顔の見える関係を築き、ニーズに沿った活動を実施する。「機会、場所、人」のつながりを深め、地域に貢献できる機会を増やす。

### ・優秀な福祉人材を育成する

法人の求める人材を獲得し、成長できる職場環境を整える。法人全体で共通した育成システムの確立を図ると共に事業所毎の育成体制において、根拠に基づいた、きめ細やかな育成を行う。新人研修、外部講師を招いての研修、階層別、職種別研修の開催、委員会活動、資格取得支援、研究発表等、様々な機会を通じ育成を行う。効果的な施設外研修計画を立案する。

### ・安定した経営を継続する

利用者、求職者から「選ばれる法人」となるよう同業他社との差別化を図ると共に、ホームページ、SNS等を活用し、積極的に情報を発信する。「数字」の理解を深め、健全な経営、運営が行えるよう努める。また、法人内での連携を強化し、相談から看取りまで複合施設として継続、安心して利用できる援助体制を整備する。

### ・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

職員個々が役割を担う上で把握しておくべき法令、ルールを根拠から理解し、実践できるよう研修体制を整備する。多方面から情報を収集し、柔軟に対応できる組織作りを目指す。

### ・人が活きる職場環境を整備する

それぞれの職員が持つ特性を把握して、適材適所の役割を任命し、前向きに働ける環境を整備する。また活躍の場を作ると共に、取り組みに対して適正な評価を行うことでモチベーションの向上を図る。

## 令和2年度 法人行事・消防・防災計画

	主な行事	個別避難訓練
4月	新人研修	
5月	法人委員会研修（食中毒）	デイサービス
6月	ふくふく堂	ケアハウス
7月	労働衛生研修	介護1課
8月	福田南町内会夏祭り くるみまつり	グループホーム
9月	敬老の日記念式典 法人委員会研修（感染症）	介護2課
10月	救命救急講習 階層職種別研修 ふくふく堂	地域密着型
11月	地震対応訓練	デイサービス
12月	階層職種別研修	ケアハウス（夜間）
1月	労働衛生研修	介護1課（夜間）
2月	ふくふく堂 階層職種別研修	介護2課（夜間） デイサービス
3月	合同消防訓練	地域密着型（夜間） グループホーム（夜間）